

は し が き

この記録は、平成19年4月執行の第16回統一地方選挙、平成19年7月29日執行の第21回参議院議員通常選挙、平成18年8月13日執行の福岡県議会議員補欠選挙（浮羽郡選挙区）、平成20年2月6日執行の筑前海区漁業調整委員会委員補欠選挙及び平成18年1月から平成20年1月の間に執行された市町村長、議会議員選挙の結果をまとめたものです。

第16回統一地方選挙は、平成18年12月8日に公布された「地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律」の定めるところにより、県知事・県議会議員・福岡市議会議員選挙及び北九州市議会議員補欠選挙（戸畑区選挙区）が4月8日に、また、市町村長・市町村議会議員選挙が4月22日にそれぞれ執行されました。

今回の統一地方選挙では、公職選挙法の改正により、地方公共団体の長の選挙において、候補者の政策等を有権者が知る機会を拡充するため、候補者が選挙運動のために使用するビラを頒布することができるようになりました。また、特定国外派遣組織に属する選挙人で国外に滞在する者を対象に、国外においても不在者投票ができるようになったところです。

平成19年7月12日公示、7月29日投票の日程で行われた第21回参議院議員通常選挙は、公職選挙法の改正により、従来、衆参両議院の比例代表選挙のみが対象であった在外選挙制度について、両議院の選挙区選挙についても在外投票が可能となっはじめて執行された選挙でした。

なお、平成19年は、12年に1度、同じ年に統一地方選挙と参議院議員通常選挙が執行されるいわゆる「亥年の選挙」であったため、統一地方選挙後に執行される参議院議員通常選挙においては、選挙疲れ等から投票率がかなり低下するのではないかと懸念されたところですが、年金問題で国民の関心が高かったこと等もあり、本県選挙区の投票率は前回（54.84%）とほぼ同様の結果（54.83%）となったところです。

こうしたなか、管理執行面において大過なく終了できたことは、各市区町村選挙管理委員会並びに関係各位の御協力の賜物と深く感謝する次第です。

ここに、これらの選挙の各種資料を取りまとめましたので、この記録を関係各方面で御活用いただければ幸いに存じます。

平成20年3月

福岡県選挙管理委員会
委員長 田 辺 俊 明